平和な未来を

戦争もない平和な未来を目指し、ノーベル平和賞を受賞した組みを進めてきました。各生協の取り組みを紹介します。

被爆・戦後80年
平和とよりよい生活のために

ピースアクションinヒロシマへの参加

コープデリにいがた

戦争・被爆体験の継承や核兵器のない平和な世界を求める想いを共有する場として、全国の生協の組合員やその家族が参加・交流する「ピースアクションinオキナワ・ヒロシマ・ナガサキ」が毎年開催されています。2024年8月の「ヒロシマ」に、コープデリにいがたから組合員親子や組合員理事・職員が参加し、全国で若者が取り組んでいる平和活動の事例や被爆された方のお話を聞きました。また広島平和記念公園内の「原爆の子の像」に組合員からの折り鶴を献納したほか、8月6日の平和記念式典にも参列し、新潟から平和への願いを届けました。こうした活動には組合員の皆さんからの募金が活用され、平和への想いを次世代に受け継いでいます。

※ヒロシマにはコープデリグループの全生協が、オキナワ・ナガサキには一部生協が参加しています

ピースアクションinいばらき

いばらきコープ

毎年春と夏に開催する「ピースアクションinいばらき」では、茨城県内の生協などが参加し、平和について考える講演などが行われています。2024年8月25日に茨城大学水戸キャンパスで開催されたピースアクションinいばらき夏では、「〜つないでいこう、平和の輪〜」をテーマに70人以上が参加。ピースアクションinヒロシマに参加した組合員親子が、現地で実際に見て、聞いて、感じたこと、想いを自分の言葉で伝えたほか、参加者全員が今自分にできることや平和への想いをこめて「わたしの平和宣言」を力強く発表しました。

宇都宮空襲戦跡めぐり

とちぎコープ

戦争末期の1945年7月12日深夜、115機のB29爆撃機が宇都宮市内に大量の焼夷弾を投下。現在のJR宇都宮駅から東武宇都宮駅の間、一般市民の住む市街地に集中的に爆弾が落とされ、620人以上の尊い命が失われました。とちぎコープでは、今も残る空襲の傷跡を組合員親子などが実際に自分の目で見て感じ取り、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える活動を毎年開催。うつのみやシティガイド協会の案内で、黒焦げになりながらも復活した大いちょうなどを見学し、身近に残る戦跡から平和への想いを新たにしています。

歩いて実際に戦跡を見て、戦争の怖さをあらためて感じました

今回の取り組みは、目標16：

平和と公正をすべての人に

につながっています。

被爆・戦後80年 「ともに」の力で

今年は被爆・戦後80年。しかし世界では、今なお紛争が絶えません。平和はくらしの大前提。コープデリグループでは、核兵器も日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）への支援や、核兵器廃絶に向けた署名活動、募金などのほか、さまざまな平和の取り

コープながの

松代大本営地下壕ガイド

長野市松代地区にある松代大本営地下壕は、第二次世界大戦末期、日本本土への侵攻に備えて東京にあった政府や軍の機関を松代に移転しようと、極秘に計画されたものです。約1年半の突貫工事では多くの朝鮮人労働者が動員されたと言われ、約10kmが掘削されたものの未完成のまま敗戦を迎えました。コープながのでは組合員理事がガイドを務め、松代大本営地下壕を始めとした身近な戦跡から平和を考える取り組みを進めています。

歴史から学び、受け継いでいくことの大切さを実感しました

コープぐんま

子ども平和新聞「ピースクラブ」

コープぐんまでは、子どもたち同士で戦争のことや平和の大切さを学ぶ「ピースクラブ」に取り組んでいます。年5回のカリキュラムで、地元新聞社の記者を講師に招いて新聞の作り方を学び、戦争関連施設などを取材。「ピースクラブニュース」を作成・発表し、県内の宅配・お店で配布・掲示しています。戦争のない世界を作るのは、今を生きる子どもたち。子どもたちが体験を通して学び、語り継ぐことで、平和な未来につながります。

※2025年度はコープデリグループの一部生協でも子ども平和新聞の作成に取り組みます

戦争は怖いと感じた。もっと平和の大切さを考えたい

コープみらい

コープみらいピースアクション

皆さんの平和への熱い思いが伝わってきました

コープみらいでは、組合員やその家族が参加する「オキナワ・ヒロシマ・ナガサキ平和の旅」や、地域に残る戦跡めぐり、募金・署名活動など、さまざまな平和の取り組みを進めています。3月1日に開催した「コープみらいピースアクション」ではのべ497人が参加し、これまでの活動を振り返ったほか、日本被団協の田中熙巳（てるみ）代表委員からのビデオメッセージや、俳優の紺野美沙子さんによる朗読、大学生や高校生の報告や展示などが行われました。次世代がしっかりと平和の大切さを受け止め、伝承する役割を担っていることを多くの参加者へ伝えました。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。